

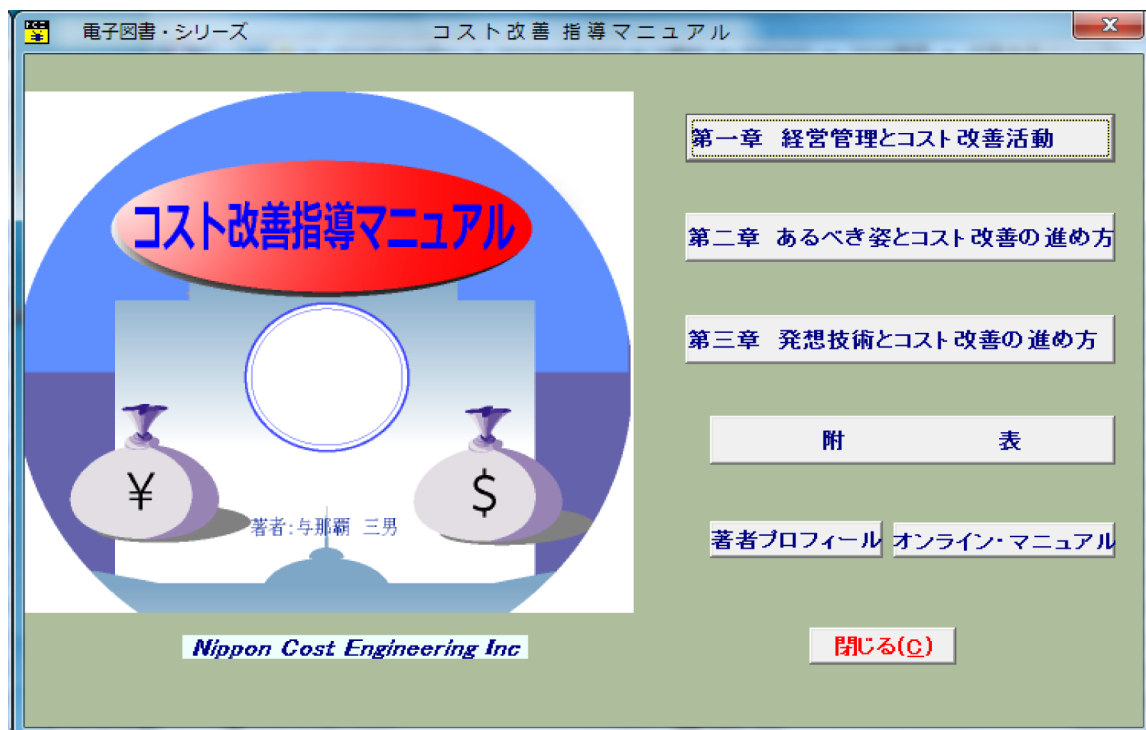
コスト工学図書シリーズ !!

ズバリ !! 世間の水準、コストの標準が一目で解かる本

コスト改善指導マニュアル

Defact Cost Standard Table

■ 与那覇三男 著



発行/日本コストエンジニアリング株式会社

〒145-0071 東京都大田区田園調布2-29-12
TEL: 0120-20-4783 FAX: 0120-40-4783

まえがき

本書は、標準的なコスト概念やコストテーブルを持たない外製工場や社内工場に対し、標準コスト概念を適用する際の指導・育成ノウハウ書として著されたものである。

標準コストテーブルなる道具（CAC システム）は、客観基準としての価値を求めて膨大な投入努力を経て作り上げられている。企業それぞれは、その必要性の根底に「自前で製品損益をコントロールしたい」という管理願望がある。実務においては工場管理や外製品購入する立場で、標準という概念を定量化したコストテーブル（標準時間）をベースに対象品目について CAC 査定した標準値と現行実績値を比較し、その差額を取り戻す行為が求められ、その手段としてコスト最善化活動が展開される。

その「差額を取り戻す」やり方には、標準／実績差異比較したらこれだけ差額が明らかになったので以降は「これで出来るはず、だからこれだけしか払わない、これしかかけられない」という管理の仕方と、標準／実績差異比較から「差異の要因はこれこれである、この要因はこうして改善すればコストは必ず下がる」といった具体的な最善化の指摘から実践を経て、その結果につ工番別、製品別損益コントロールを図るやり方がある。本書は、後者のやり方について、次の様なフローに添って具体的に手法と手順が解説してある。コスト最善化実践展開に於いて説得あるコスト最適化に向けて役立てていただければ幸いである。

